

行政視察報告書

令和 元年 12月 23日

会 派 名 公明党市議団
会派代表者 鈴木 貢

(参加者：鈴木 貢、野下達哉、石原資泰
行政視察の結果について、次のとおり報告します。)

①

年月日	令和 元年 12月 20日 (金)
視察時間	13:00 ~ 15:00
視 察 先	京都府京都市
視察項目	「京都市南部クリーンセンター第二工場」について

行政視察報告書

①

年月日	令和 元年 12月 20日 (金)
視察時間	13:00 ~ 15:00
視察先	京都府京都市
視察項目	「京都市南部クリーンセンター第二工場」について
■目的	令和元年10月より稼働を開始した「京都市南部クリーンセンター第二工場（バイオガス化施設）」について今後、計画中的新ごみ処理施設の参考にするため。
■内容	<p>○施設の概要</p> <ul style="list-style-type: none">・平成25年10月工事契約/令和元年10月稼働開始・焼却施設 500t/日 (250t/日×2炉) 発電効率約20%の高効率ごみ発電設備により最大14,000kWを発電。高度な排ガス処理（ろ過式集じん器、湿式ガス洗浄塔、活性炭吸着塔、脱硝反応塔）・バイオガス化施設 60t/日 (30t/日×2系統) 約9,000 m³/日のバイオガスを回収、最大1,000kWを発電・選別資源化施設<ul style="list-style-type: none">・高速回転式破砕機 140t/日・弾性ごみ切断機 40 t/日 磁選機による鉄の回収及びアルミ選別機によるアルミの回収・環境学習施設「さすてな京都」 世界最先端の環境技術を体験でき、ごみ減量はもとより、生物多様性や再生可能エネルギーなどについても楽しく学べる、京都議定書誕生の地にふさわしい環境学習の拠点として整備
■所感	最先端のバイオガス化施設を見せて頂き、大きな社会問題となっている温室効果ガスの排出削減に対して現状、最適な技術だと感じました。ただし、維持費などの費用面に関しては、現状は不透明であり、費用対効果も含めて、何を一番の目的にするかで、江南市の新ごみ処理場の焼却方式を決めていく必要があると思いました。